この歴史のある山科別院に、多くの方々にご参拝していただきたいと考えております。当別院では、各教区の団体参拝、また小グループ、個人でのご参拝を心よりお待ちいたしております。

『機関誌山科さん』の発刊、またこのたび、ホームページの内容などを新たにしてご参拝くださる皆様に別院の行事や移り変わる四季折々の別院の風景、別院の情報などを盛りだくさんに発信いたしますのでご活用ください。

（※団体参拝申込みにつきましては、別院ホームページからでも抽出することができますのでご案内いたします）

『機関誌山科さん』閉刊中は、多くの皆様にご不便ご心配をお掛けいたしましたが、この発刊を機に今後ともよろしくお願い申しあげ、ご挨拶とさせていただきます。

合掌

蓮如上人ご誕生六〇〇年記念法要

記念法要実施計画の策定について

趣旨

平成二十七年は、本願寺第八代蓮如上人のご誕生六〇〇年の記念すべき年にあたります。上人は本願寺「中興の祖」と言われ、今日の本願寺の礎を築かれた方であり、また、この山科の地は上人ご在世の間に本願寺が置かれたこともあり、当別院にとっては上人と格別深いご縁がございます。

このたび、上人ご誕生六〇〇年の好機にあたり、平成二十七年にご法要をお勤めする計画をすすめております。別院の「新たな　始まり」の第一歩として、有縁の方がたのご理解とご協力を賜り、別院門信徒をはじめ崇敬区域の伝道教化の中心道場として、浄土真宗のみ教をより一層ひろめたいと思います。

ご法要は秋季に二日間の日程で執り行い、多彩なイベントも取り入れ有縁の方々とともに上人のご誕生をお慶びするご勝縁といたすものであります。

その財政面につきましては、特別会計を設定し、門信徒の皆さま、崇敬区域のご寺院・講社講員の皆さまに懇志を依頼させていただきます。

当該会計は、平成二十六年度中にご認証を以って設置し、当法要終了年度、閉鎖いたします。

〔一〕法要修行期日について

平成二十七年の秋季に、二日間（各日逮夜）に亘って修行いたします

〔二〕法要日程について

一、法要日程について

〈一日目〉（金）午後二時　法　要

法要終了後　イベント開催

〈二日目〉（土）午前中　イベント開催

午後二時　法　要

「蓮如上人ご誕生六〇〇年記念法要」実行委員会委員一覧表

【顧問】

小向達也（東海教区朝明組浄泉坊）　村岡顕城（滋賀教区高島組明光寺）

【委員長】

稲岡義證（滋賀教区蒲生上組信楽寺）

【副委員長・広報部会長】

池田惠俊（滋賀教区栗太組長安寺）

【お待ち受け部会長】

黒田昭信（滋賀教区犬上南組教得寺）

【副委員長・財務部会長】

石本龍憲（東海教区員弁組浄光寺）

【庶務部会長】

森　知子（東海教区朝明組光明寺門徒）

【委員】

青峰明誓（滋賀教区愛知上組願正寺）　新谷紀子（本願寺山科別院門徒）

岩田信也（東海教区三重組西勝寺門徒）　大島行麿（東海教区桑名組善宗寺）

太田孝治（滋賀教区栗太組勝専寺門徒）　小谷新次（滋賀教区高島組正念寺門徒）

佐藤乃扶恵（本願寺山科別院門徒）　釋迦裕史（滋賀教区高島組浄願寺）

辰巳はる枝（滋賀教区愛知上組西明寺門徒）　津田孝夫（滋賀教区大津組普門寺）

土橋元尚（京都教区上東組眞光寺）　豊原隆夫（滋賀教区護法組西明寺）

中西了正（滋賀教区高島組妙敬寺）　野瀬善隆（滋賀教区彦根組清徳寺）

林　弘（京都教区上東組法敬寺門徒）　深井惠純（滋賀教区稲枝西組圓廣寺）

藤谷峻成（滋賀教区犬上南組霊祥寺）　蒔田恵俊（東海教区朝明組三光寺）

宮崎　博（本願寺山科別院門徒）　森野宏一（滋賀教区稲枝西組本専寺門徒）

蓮如上人ご誕生六〇〇年記念法要（お待ち受け法要）のご案内

来る平成二十七年五月二十四日（日）

時　間　午後二時より、

会　所　滋賀教区　犬上南組　教得寺（甲良町尼子）

住所　滋賀県犬上郡甲良町尼子一二四九

講　師　野瀬善隆師（本願寺派布教使）

法要後に落語会

出　演　滋賀県出身の落語家　桂　優々

二人の少年落語家　辻　春都

西畑　秦音

※皆さまのご参拝をお待ちいたしております。

龍王山　教得寺

犬上南組二十五日講

大滝二十五日講

西本願寺山科別院（西御坊）
蓮如上人ゆかりの聖地
愛知下部二十五日講の昔と今

講長　森野宏一

愛知下部の門徒の方々が今だに「山科さん」と親しみを込めて呼んでいるのは、先人の方々が培ってこられた土壌がこの地に染み込んでいる証であり、感謝しなければならない（稲枝西組　圓廣寺　深井惠純住職談）。

いつのころかはっきりしないが、別院の中宗会・報恩講・永代経法要に、肝煎が肝煎会を組織して、多くの門徒とともに食材を持参し、参拝している**写真**が、別院に残されている。

現在の多目的ホールがある所には、当時屋内休憩所の建物が存在して、愛知下部の門徒の方々の宿泊所となっていた様子である。また愛知下部の永代経会計簿には、昭和五十八年と平成八年に、お厨子・五具足等を上納した費用が計上されている。

愛知下部は、二十名の肝煎で構成され、一人の肝煎が数カ寺を担当している。寺によって事情も違うが、代々肝煎を引き受けておられる家もあれば意中の後継者に次々と託すケースなど、様々な形で今日まで受け継がれてきている。

現在、肝煎会は年に数回開催され、別院の輪番も肝煎会に参加し、別院の行事等の打ち合わせをおこなっている。

愛知下部では、以下の行事が先人の肝煎の方からのご指導により続いている。

①念仏奉仕（本願寺山科別院境内・蓮如上人御廟所一円の剪定と清掃）毎年約八十～百名の方が参加。

②中宗会・報恩講の参拝と諸行事のお手伝い。

法要開始の行事太鼓・梵鐘。

御門主・前門様が蓮如上人御廟にお参りされる列の参加。

③永代経法要を愛知下部の四地区で毎年一カ寺ずつ勤めている。

ちなみに永代経法要記録簿では、昭和三十八年には、上平流町法輪寺・上岡部町正得寺・石橋町正光寺・新海町報恩寺にて法要がなされている。

門徒戸数は、平成十四年十月に二一七〇戸あったが、平成二十七年三月末現在、一九〇二戸に減少している。

愛荘町・豊郷町	十六カ寺
稲枝東地区	十五カ寺
稲枝北地区	十三カ寺
稲枝西地区	十四カ寺
合　計	五十八カ寺

愛知下部では、お初穂の上納を毎年続けている。永代経法要の懇志は、別院の行事に合わせて上納している。

現在役員構成は、顧問　稲枝西組圓廣寺深井惠純住職・上田留吉氏と肝煎二十名。講長森野宏一・永代経担当田辺脩・会計担当辻文夫・監査清水徳造・中川政治にて諸行事の打ち合わせをして門徒の参加、協力を頂き運営している。

（4月13日　中宗会）